

回覧

# 認知症サポーター

## 養成講座のお知らせ！

9月28日 土 19:00▶20:30

区民館 2階 講師：地域包括支援センター職員

高齢化が進行する中、認知症の方が青木平で元気で長く住み続けたためにも、周りの方々の認知症に対する正しい理解と、ちょっとした手助けが何よりも大切です。

認知症サポーターとして特別なことをする必要はありませんが、まずは正しい知識を学び、無理なく、できる範囲で手助けできる応援者になって頂きたいと考え、認知症サポーター養成講座を開講いたします。



自治会役員以外の方で、参加を希望する方は下記の表にご記入願います。

受講された方には、  
認知症サポーターの証  
『オレンジリング』を  
プレゼントします



町内・班	お名前

\*班長さんは、回覧が終わりましたらこのチラシを町内会長に提出願います。

## 1. 認知症の現状と将来推計

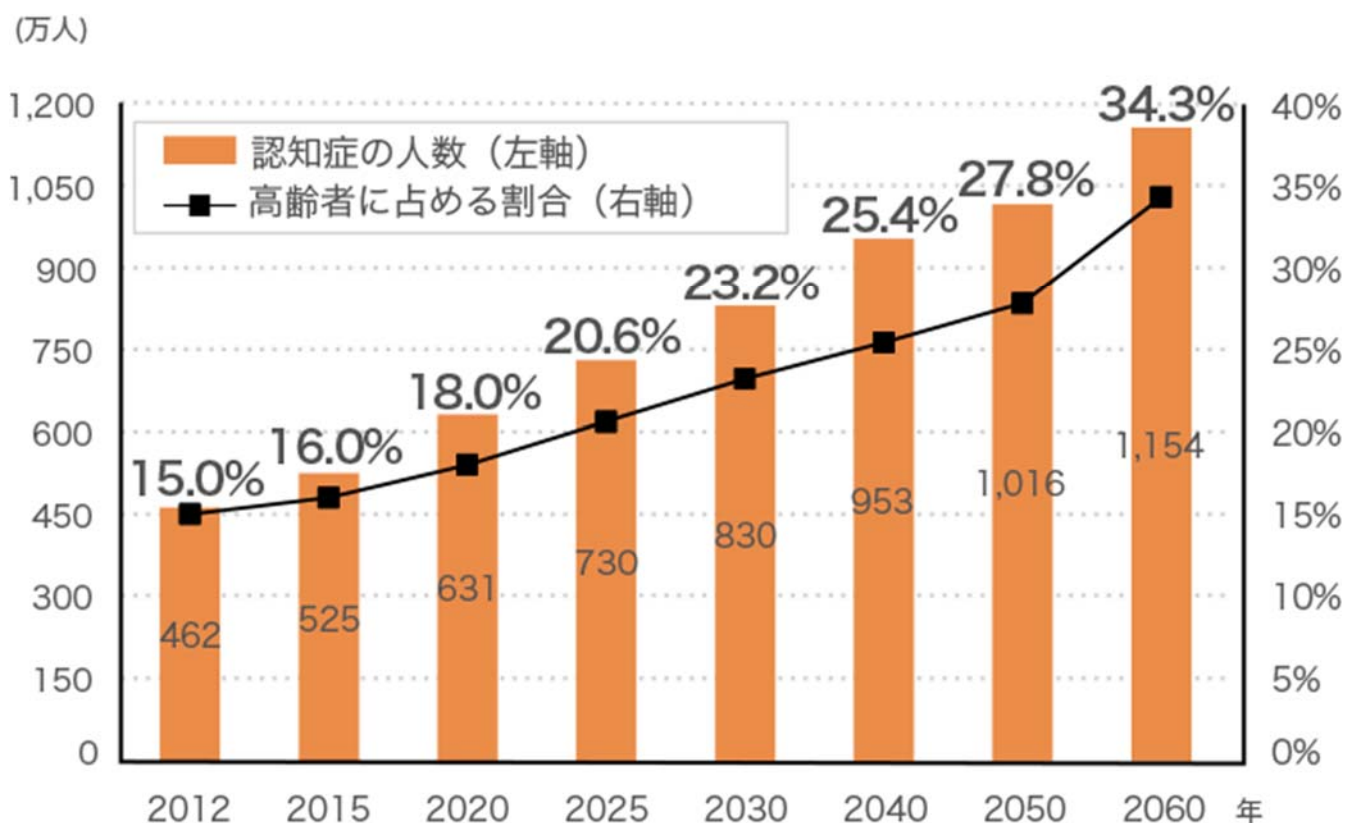
世界保健機関（WHO）が発表した報告書によれば、世界の認知症有病数は現在、およそ 3,560 万人に上ります。そして、2030 年までに 2 倍の 6,570 万人、2050 年までに 3 倍の 1 億 1,540 万に増えると予測されているのです。

では、我々の住む日本はどうでしょうか。実際にどのくらいの人が認知症を発症していて、将来はどの程度の人が認知症を発症すると予想されているかを表したのが下のグラフです。

65 歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は推計 15%で、2012 年時点で約 462 万人に上ることが厚生労働省研究班の調査で明らかになっています。

そして、その数が 2025 年には 730 万人へ増加し、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症を発症すると推計されています。

## 2. 日本における認知症の人の将来推計



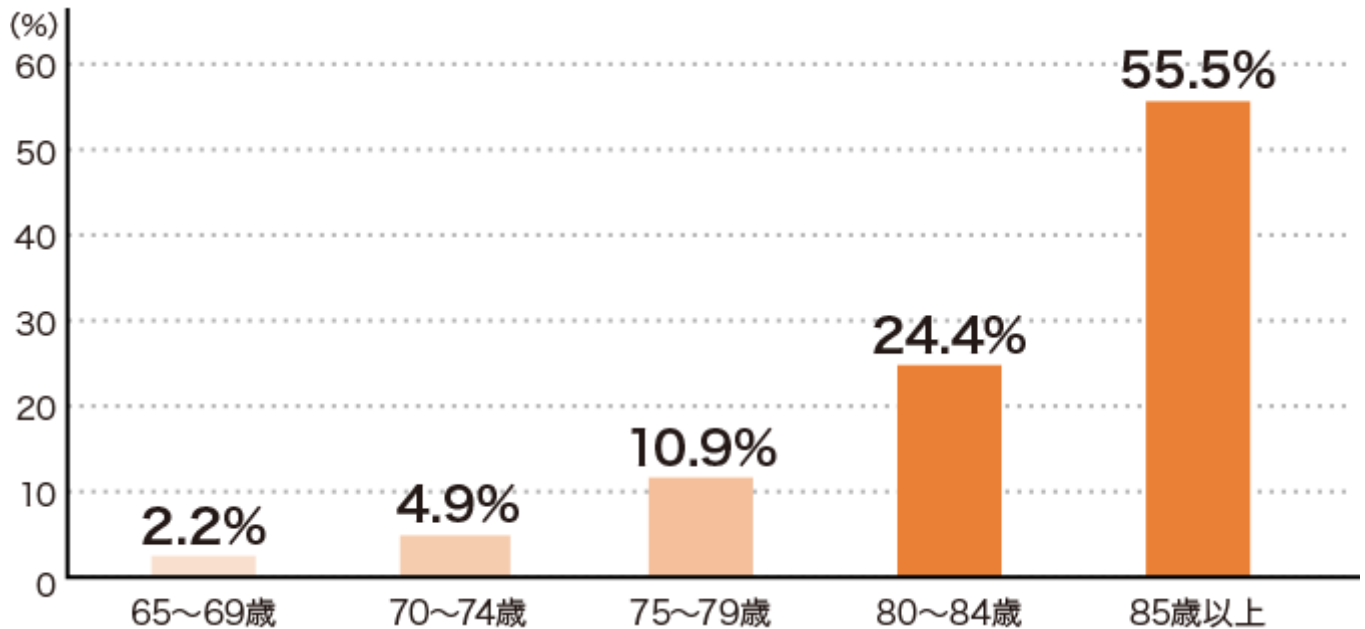
- ※各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計

出典：認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～の概要（厚生労働省）を基に当社作成

また、高齢になるにつれ、認知症の割合は増加するとも予想されています。85歳以上では、55%以上の方が認知症になるといわれ、今は大丈夫であっても、将来は適切な判断ができなくなるかもしれません。

### 3. 認知症にかかっている方の割合（年齢別）

---



出典：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業）より算出